

11 番 堀 口

受付番号4号、質問議員11番、堀口恵一。

題名、「大胆な発想転換で国道246号線の渋滞解決を」。

中日本高速道路株式会社（NEXCO中日本）は令和4年12月16日、建設中の新東名高速道路新秦野インターチェンジから新御殿場インターチェンジ間（延長25キロメートル）について令和9年度の開通予定と発表した。

現在、土日や連休など行楽時期には、国道246号線の安戸トンネルから清水橋交差点付近をボトルネックに、宮地、さらには松田町付近まで渋滞が続き、国道利用者はもとより山北町民も非常に不便を感じている。

さきの一般質問でもあったが、清水橋交差点付近では、新東名が開通した際には、さらに大きな渋滞が発生すると国からも指摘され、地元でも懸念点となっている。

こうした慢性的な交通渋滞に対しては、新東名高速に接続できる新たなバイパス路の接続や、新たな休息地（パーキングエリア等）の設置など、もっと大胆な発想転換が必要と思ひ質問する。

1. 令和元年9月定例会で新東名向原展望パーキングエリアについて一般質問を行った際は、「パーキングエリアの間隔」「分合流安全面の懸念」「渋滞助長の懸念」「休息施設の採算性」などを理由に難しいとの答弁であった。しかしあれから4年、当初予定していた開通は遅れ、国道の渋滞がこの先すぐに解消するとは考えにくい。町として、国やNEXCO中日本に対し、設計変更などもっと抜本的な対策の検討や渋滞対策の要望などをしていくべきと思うがどうか。

以上。

議 長 答弁願います。

町長。

町 長 それでは、堀口恵一議員から「大胆な発想転換で国道246号線の渋滞解決を」についての御質問をいただきました。

初めに、「令和元年9月定例会で新東名向原展望パーキングエリアについて一般質問を行った際は、『パーキングエリアの間隔』『分合流安全面の懸念』『渋滞助長の懸念』『休息施設の採算性』などを理由に難しいとの答弁であった。しかしあれから4年、当初予定していた開通は遅れ、国道の渋滞

がこの先すぐに解消するとは考えにくい。町としては、国やNEXCO中日本に対し、設計変更などもっと抜本的な対策の検討や渋滞対策の要望などをしていくべきと思うがどうか」についてであります。令和元年9月に同様な質問がありましたが、中日本高速道路株式会社に再度確認したところ、「サービスエリアやパーキングエリアの設置については、NEXCOの基準に基づき休息施設相互の位置関係、提供するサービスの内容、本線交通特性・道路構造・地形的条件などを総合的に考慮して決定しており、令和元年から状況の変化がない中、山北町から新たにパーキングエリア設置の要望があったとしても、道路設計を見直すことは不可能である」とのことでした。

国道246号の渋滞対策といたしましては、新東名高速道路が開通することで、現東名高速道路と国道246号にかかる交通負荷を減らすことが重要と考えておりますので、中日本高速道路株式会社に一日も早い新東名高速道路の開通を働きかけてまいります。

また、工事期間中の工事関係車両による国道246号の渋滞については、引き続き中日本高速道路株式会社に対し、さらなる渋滞対策を要望してまいります。

議 長 11番、堀口恵一議員。

11 番 堀 口 安戸トンネル手前で内山からの道が合流、その手前宮地交差点では、小田原、南足柄、開成方面からの車が大口橋を通過して合流してくる。それが安戸トンネル一本に絞られている。

また、清水橋交差点においては、丹沢湖方面からの道と小山御殿場方面からの道が合流して一本になっている。この安戸トンネルから清水橋交差点までが渋滞ボトルネックになってると認識しているが、町長はどのように考えているか。

議 長 町長。

町 長 先ほど、大野議員のときにもお答えしましたけども、基本的には瀬戸バイパスの2車線化というのが、やはり4車線が本来の姿でしょうから、そのところはしっかりと要望していかなければいけないというふうに思ってますし、そういった意味では、今、松田警察に交通調査をお願いしておりますので、そういった中で対応してまいりたいというふうに思ってますけども、中

日本にもその旨は伝えておりますので、そういった意味では、再度交通渋滞については、少なくとも令和9年の開通までは、何とか向こうのほうの中日本にも責任があるんじゃないかというふうに考えております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 このボトルネックについては共通認識だと思うんですが、ここを4車線化するということでよろしいでしょうか、考え方として。安戸トンネル自体が今、1車線ですけども、そこのトンネル自体、4車線の窓口としてずっと清水交差点までもうちょっと先ぐらまで、要するに狭いところを4車線化するという考え方でよろしいでしょうか。

議 長 町長。

町 長 基本的に今現在4車線であるところも2車線に小山とかやっておりますし、要するに4車線を、ただ瀬戸バイパスを4車線にすればいいということだけじゃなくて、当然その設計というんですか、その中では当然渋滞のことは考えていただけるでしょうから、そういったような総合的なところを考えなければいけないというふうに思ってますので。ただ単にこっちが2車線だから向こうを4車線にしてもというような議論にはならないというふうに私は思っております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 とにかくボトルネックの認識は共通だというふうに理解したわけですけども、この安戸トンネルより渋滞の発生場所ですね、そういう手前から清水橋交差点の先に、要するにボトルネックのところを外したバイパスを設けなければ、246号の渋滞問題は解決しないと思うわけです。

4車線化というのは、できればいいですけど、先ほどの話だとかなり難しい工事ということで、要望はしていくけども、おそらく今の話の状況で現実性がないんじゃないかというふうに解釈しているんですが、その前提として考えた場合には、その安戸トンネルより手前から清水橋交差点の先にバイパスを設けて、そこを抜けなければ246線の渋滞問題は解決しないと思うがどう考えるか。

議 長 町長、少々お待ちください。

堀口議員、すみません。アクリル板が前にあるときはマスク外していただ

いて結構でございます。ちょっと声がこもってしまうようです。

じゃあ、今の質問に関して、答弁、町長お願いいたします。

町長。

町長 基本的にバイパスは清水橋まで持っていくというのは、全く、今の山北町の地形からすると、設計、要するに、もともと瀬戸バイパスは4車線で設計されてるわけですから、そういうような安全性から見ても、そちらのほうが実現性が高いというふうに思いますんで、バイパスをどこに持っていくのか、どちらにしても清水橋に向かって、バイパスをつくるというのはそれこそ大変な、トンネルとかそういうような工事で、それこそ大変な工事ではないかというふうに思ってますんで、私としてはちょっとその実現性とかについて、ちょっと理解がちょっと私ではできないんですけど。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 具体的な話の前に、要は渋滞してるボトルネックがあった場合に、血管と同じですけども、バイパス手術でバイパスして飛ばすということをやらなければこの渋滞が解決しないんじゃないかという、ちょっとできるできないは別ですけども、バイパスを通せば解決するんじゃないかという話ですが、どう考えますでしょうか。

議 長 町長。

町 長 ですから、大野議員のときにも答えましたけど、県道のほうの若干の待避所とか拡幅とかそういったようなことは要望しようというふうに思いますけど、根本的なバイパスというのはそれこそなかなか考えにくいんじゃないかというふうに思ってます。

議 長 11番、堀口恵一議員。

11 番 堀 口 全く新規のバイパスをつくろうということになれば、確かに莫大な費用がかかって、これはちょっとやそつとじゃできないという状況かと思います。先ほどの246の4車線化についても、やはり莫大な費用がかかって、なかなかおいそれといかない状況かと思います。

そこで、現在工事進んでます新東名は、もともと国道246号の負担軽減も意図しているんですから、新東名の一部をバイパスとして使うことは至極当然のことだと思うんですが、どうでしょうか。

- 議 町 長 町長。
- 町 長 新東名とか、あるいは今の旧東名をバイパスとして使うというのは、私はちょっと考えたことないんですけども、普通に私のほうで、もし中日本さんに要求するんだったら、少なくともあそこの期間の、山北インターから秦野インターまでの通行料を安くしてくれとか、ただにしてくれとか、そっこのほうがよっぽど具体的じゃないかなというふうには思ってます。
- 議 長 堀口恵一議員。
- 11 番 堀 口 通行料の関係でいじるとかそういうレベルの話じゃなくて、基本的に詰まってる部分を迂回するという考え方というのはできませんでしょうか。
- 議 町 長 町長。
- 町 長 渋滞を解消するというのは、それぞれ我々自治体もそうですし、警察にしても、あるいは道路の管理者にしても必要なことだというふうには思いますけど、それを東名に持っていくというのはちょっと筋が違うんじゃないかと私は思ってます。
- 議 長 堀口恵一議員。
- 11 番 堀 口 新東名の目的は、国道246の負担軽減を意図しているということだったと思うんですが、それについてはどう考えますでしょうか。
- 議 町 長 町長。
- 町 長 当然、完成すれば交通量は減るというふうに思っております。
- 議 長 堀口恵一議員。
- 11 番 堀 口 交通量が減るといったことはどういうことかといいますと、そちら側に回ったということになるかと思うんです。
- それがイコールバイパスという私が言ってる意味と一致するわけなんですけど、そういった意味でのバイパスという扱いで考えているんですが、御理解願えますでしょうか。
- 議 町 長 町長。
- 町 長 何というんですか、目的地に行くルートの問題ですから、それを例えばどういうふうにバイパスというのか、今までの路線から違うものができればみんなバイパスなのかどうか分かりませんが、少なくとも新東名にはそういったような渋滞緩和の効果も期待されるというふうに解釈しております。

議 長 堀口恵一議員。
11 番 堀 口 そういうことであれば、やはり新東名の一部をバイパスとして使うことは至極当然のことと思いますがどうでしょうか。

議 長 町長。
町 長 ですから、それは使う人の当然考え方によりますんで、バイパスとして使う方は使っていただければ別に構わないのではないかと思います。

議 長 堀口恵一議員。
11 番 堀 口 使いたい人が使える状況ということで、バイパスとして認識できるということですので、そこについては共感いただいたと理解いたしました。

もともとの新東名の目的が、目的がといますか、246号の負担軽減を意図して、要は渋滞を発生させるのではなくて、本来の地域の道をより通りやすくするという目的でつくってるわけですから、当然のことながらバイパスとして使うことは当然としか言いようがないと思うんですが、完全ではないですが、一部理解、共感していただいたというような認識となりました。

次に、向原から（仮称）山北スマートインター、または小山スマートインターまで、一般自動車が迂回できればボトルネックの渋滞は解消すると思うがどう考えるか。

議 長 町長。
町 長 先ほどもお答えしましたが、中日本さんのほうには、向原のところにバイパス、あるいはそういったような入り口とか、そういったものはつくる予定はないということですので、私はそういうのは無理だというふうに思っています。

議 長 堀口恵一議員。
11 番 堀 口 答弁書のほうから言いますと、回答の中には、令和元年から状況の変化がない中という形で不可能であるという回答になっております。

それ、この変化がないというふうにかかれてるんですが、以前提案した新東名向原展望パーキングエリアの設置条件がクリアできるのではないかと思いますので、ちょっと4点ほど質問いたします。

一つ目は、まず課題ですが、休息施設の採算性について。これは店舗が近いところがあると競合してしまうと、そういう話であったと思うんです。要

するにあまり乱立しちゃうと商売が成り立たなくなるということで、あまり近いところにつくれない、そういう話だということで、休息施設の採算性についてということで条件が挙げられました。

それに対してなんですが、今現在ほかの県なんですけれども、無人のパーキングエリアというのができてまして、そこではトイレ、駐車スペース、自動販売機（防災機能付程度のもの）、その程度のパーキングエリアというのが、実際できております。稼働してますんで、そういったものであれば、お店の競合というのはなくなると思うわけですが、それについて、なくなると思いますでしょうか。

議 長 町長。

町 長 サービスエリアとか休息については、距離的なことを考えれば、秦野があるわけですね。あそこも非常に大きいサービスエリアとかパーキングエリアができてますんで、あそこから考えたときに、やはり次のサービスエリアは当然、小山とか何かで山北に造るだけのスペースはちょっとないというふうに私は考えております。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 ただいま議員のほうから状況の変化についてという御質問があったかと思っております。令和元年9月の際回答させていただいた内容といたしましては、新東名の供用後の状況に注視し、配置条件の変更等、これはNEXC Oの基準等が変わった場合、検討したいという旨で御回答したものでございます。

また無人のサービスエリア・パーキングエリアについて御提案があったかと思っておりますが、そもそも休息施設にはサービスエリアとパーキングエリアというものがございます。パーキングエリアにつきましては、駐車場、ベンチ、公衆便所のサービス機能を備えた休息施設をいう。必要に応じ売店、給油所を設けることができるものとするということで、そもそもパーキングエリアにつきましては、有人である必要がないということになっております。近隣ですと首都高速道路の芝浦パーキングエリア、現東名ですと由比パーキングエリアが無人のパーキングエリアになっております。由比につきましては、売店機能があったんですが、2020年に廃止されているというような状況になっております。

以上です。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 そうしますと、無人の休息施設の採算性ということについては、クリアできたといってよろしいのでしょうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 令和元年にも回答させていただいておりますが、そもそもサービスエリアやパーキングエリアといった休息施設は、休息施設相互の位置関係、提供するサービスの内容のほかに、本線交通特性、道路構造等を総合的に考慮され、配置するものでありますので、向原地区の新たな休息施設の設置は不可能だと考えております。先ほど言いました採算性というものにつきましては、整備に対する採算性という意味でございます。ですので、立地条件、例えばそこが急峻な地形であるだとか、整備に多額の費用がかかる場合は、それよりも有利な土地、有利な場所に設置するという考えでの御回答になります。

以上です。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 以前、店舗が競合するなどという話があったんですが、それについてはなくなるということは御理解されますでしょうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 そういったものを全て総合的に考慮して配置されるものだと理解しております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 基本的にパーキングエリアというのは、総合的に判断されるわけですが、総合的な要件としまして、前回主なものが四つ挙げられてまして、それを順番に今聞いているところなんで、そのうちの一つとして休息施設の採算性というところで絞って聞いているわけですね。ですから、お店がなければ競合するわけないんで、それについては御理解願えますでしょうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 再度の御回答になりますが、全ての休息施設の標準間隔というのは、15キロから25キロ間隔となっております。ちなみに秦野丹沢サービスエリアと小山パーキングエリアは約20キロということで、この基準を満たしております

ので、その間に新たに休息施設を設けるという考えはございません。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 パーキングエリアの間隔については、NEXCOの取決めがあつて決まっている標準ということでありまして、政治的判断によって変更できるもので、何のために新東名を造ったかを一番に考えるべきで、今回に必要性・必然性が発生している状況では当然対応すべきと思うが、どうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 サービスエリア、パーキングエリアにつきましては、高速道路を運転されるドライバーのための施設でございますので、外的要因において新たに設置するものではないと理解しております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 おそらくその解釈が間違つておりまして、高速道路を造るのは地域にとつても有効であるとか、地域産業の、要するに交通安全も出てますけれども、清水インター使つて、そこから大型トラックが出入りするとか、そういう話で経済効果も見込んでるとか、ほかの要件がいろいろあつてのことで。あくまでもそこに乗って走る人のだけのために造っているわけではありません。それは勘違いされてるとしか思えませんけれども、御回答願います。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 ただいま議員のほうからそれは違うというような御発言があつたかと思うんですけれども、私の理解といたしましては、ドライバーのための施設だと考えております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 町長、そんなことでよろしいのでしょうか。

議 長 町長。

町 長 ですから、私も室長と同じ考えでございますんで、そういった中では、当然、そういうような必要性というのは感じておりません。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 地域のための必要性は考えてないのでしょうか。

議 長 町長。

町 長 どういう地域の必要性なんですか。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 トラックとか流通する場合もあるし、観光で地元から出入りする利用者ですね、利用者の何のために造っているんですかという話になるかと思うんですよ。高速乗って走っている人だけのために造っているような話をされてますんで、違うんじゃないんですかと話してるんですが、違いますでしょうか。

議 長 町長。

町 長 そもそもですね、新東名ができた背景というのは、やはり交通渋滞ももちろんあるでしょうけど、基本的には防災であるとか代替道路というようなところが基本になってるというふうに私は理解しております。そういった中で、サービスエリアやパーキングエリアというのは、やはり附属する施設でございますので、それはやはり最初の設計のときにそういったようなことが話し合われて、それで、そういう要求が山北町からは出なかったということですから、あくまでもスマートインター、要するに出入口については要望が出て、何とかお願いしたいということで、スマートインターを許可していただいたというような流れだというふうに感じております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 今ちょうど発言されたんですが、要は渋滞の緩和とかということを言われましたよね。要するに渋滞の緩和が非常に結構重要な意味を持っているわけですね。それを何のために新東名を造ったのかといったときに、渋滞緩和は関係ありませんよ、新東名通ってる高速の人のために造っているんだからという、今、話になってますけれども、それでよろしいんでしょうか。

議 長 町長。

町 長 渋滞緩和というのは、当然交通の流れの中でカウントされてあるものだというふうに思いますので、当然東名ができたときに下り車線については、あまりにも渋滞、交通が多いということで、拡幅道路ができたわけですね。それで、当然今下り車線については5車線ですか、そのくらいあるんですけど、そういったような流れの中で、今度は新東名というような話ですので、渋滞は、もちろんここだけですよね、下りに5車線あるというのは。ですから、そういった流れの中で、解消をある程度はしてるんですけども、さらに新東名という需要があったということですから、単純にただ交通渋滞のためでした

ら、取りあえず、5車線にしたことによって、ある程度の効果は出てるのではないかというふうに思ってますんで、新東名について、渋滞が主な理由ということではなくて、あくまでそれもありますよということだというふうに私は認識しております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 当然、それもありますよということで、含まれているということを発言されたわけですが、当然 246 の渋滞解消も含まれているという解釈でよろしいでしょうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 先ほどから議員のほう为新東名高速の意義といたしまして、国道の渋滞という発言がございましたが、あくまで新東名高速道路は現在の東名高速道路の渋滞緩和、交通負荷を減らすための新東名ということで、先ほどから言っている国道の渋滞につきましては、副次的なものということで主の目的にはなっていないというふうに考えております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 新東名の渋滞と国道 246 の渋滞が同じなんですね。新東名が渋滞すると下に降りてきて 246 が渋滞するんです。同じ問題だと解釈できませんか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 あくまで新東名の建設の目的といたしましては、現東名への負荷を減らすということになっております。

議 長 再質問はよろしいですか。堀口恵一議員。

11 番 堀 口 そうしますと、国道 246 の負荷を軽減するということは、先ほどは入っているとされたようなんですけど、入っていないということですか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 結果的にそのようなことになるという意味でございます。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 結果的に国道 246 の渋滞は関係ないというふうに話してるんですか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 まず、新東名と現東名の交通について、ちょっとお話ししたいかと思います。既に開通している静岡区間の現状を見ますと、交通量といたしましては

新東名6、現東名4ということで、主に新東名につきましてはインターチェンジ間の距離も長いこともありまして、長距離の利用を想定したものとなっております。先ほど御回答したとおり、堀口議員のおっしゃる短距離的な移動については現東名が担い、長距離の輸送や移動の際には新東名を利用するということが計画されているものですので、御理解いただきたいと思います。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 小山のスマートインターと御殿場インターというのはかなり近いんですけども、その場所場所によって結構接近している場所もありまして、結局その辺は政治的判断で解決できる話だと思いますけれどもどうでしょうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 そのようなために、スマートインター制度というものができたと理解しております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 基本的には使う方が便利になるように造っているわけですし、その辺がよろしいですか。解釈ですけども。理屈合わせじゃなくて、使う人が便利になるという目的じゃないんですか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 そのために山北スマートインターチェンジを計画いたしました。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 そのスマートインターチェンジのおかげで渋滞が発生するという逆現象が起こるわけですけども、これについてはどう考えてますでしょうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 先ほどからお答えしているとおり、新東名高速道路が開通した暁には国道246の交通量も減るといふふうに見込んでおります。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 現在、国道246を通っている車は新東名ができて通るのであれば、今現時点、既に現在の高速道路を通っております。特にここを通っているのは足柄平野のトラックとかが国道246使わなきゃならない人とか、また金額が安いということで通るわけですし、新東名ができればその分全てなくなるかと思えば、そうじゃない状況じゃないかというのが推測されますが、どうでしょ

うか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 新東名開通後に全ての車が新東名を通るわけではなく、既に開通している静岡区間の実績を等見ますと、並行している国道の交通量が減少するというデータが出ておりますので、246の交通量が減るのではないかというふうに回答させていただいております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 新東名ができた場合には、今の246の渋滞問題が解決すると答えてるんでしょうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 現在の国道246の渋滞につきましては、現在、現東名高速道路リニューアル工事という名前で長期間にわたって、下り線右ルート左ルート片側を長期通行止めというのをやっております。2020年から2021年にかけては9月から12月までの3か月間ということで、片ルートの閉鎖をしておったんですが、2022年度、今年度から9月から12月、1月から3月ほぼ半年片側を止めている状況です。御殿場保全・サービスセンターに確認したところ、この状況は数年続くというふうにお伺いしております。新東名の開通が早くなればなるほど、東名を迂回する車が新東名に回ることになりますので、国道への負荷も減るのではないかというふうに考えております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 新東名ができたなら今の246の渋滞が解消されるということに対してはどうでしょうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 解消するとは言えないと思います。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 そのとおりだと思います。解消しないんです。ですから、必要性が出てくるわけですね。ちょっと先ほどの質問に戻りますけれども、先ほど休息施設、お店が競合しないのは当然つくらなければ競合するわけではないということで、一つ目ですが。二つ目ですが、分合流、要するに、車がパーキングエリアに入ってくるスペースとかそういった問題だと思うんですけれども、分合流安

全面の懸念についてということではなされていまして、これなんですけど、現在の新秦野インターチェンジですけれども、現在のスマートインターチェンジ秦野のところは、向原のトンネル間よりも短いんですね。短いところでフルスマートインターできてるんですね。ですから設計をちゃんとやればできますので、これはクリアできると思うんですけれども、どうでしょうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 今御指摘いただいたのは、新秦野インターチェンジランプの手前の小原トンネルから新秦野インターチェンジまでのランプのことをおっしゃってますか。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 ランプというの分りにくいんですけども、要は新東名に乗り入れる場所、合流区間がありますけど、トンネル口から反対のトンネル口の間距離です。その距離が向原のほうがもっと長いんですね。御存じですか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 ちなみに、向原の切土区の長さが約 550 メーターほどございます。今おっしゃっている新秦野インターチェンジのランプ部につきましては、土工部ではそれより短い可能性はありますけども、先ほど言った小原トンネルから新秦野インターチェンジへのオフランプにつきましては、トンネル出口から既に橋梁になっておりますので、オフランプの橋梁を延長して降り口を造っているという状況になります。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 先ほど土工部と言われましたけれども、あそこは土工部と橋梁部が両方ありまして、それ含めて長いということをおっしゃっているわけですが、御理解されてますでしょうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 新秦野インターチェンジの場所につきましては、先ほど堀口議員がおっしゃったとおり、土工部と橋梁部、二つに分かれておるかと思っております。橋梁部が長くなるということは、それなりに費用が高額になるということで、新秦野インターチェンジにつきましては、多額の費用がかかっているのではないかと推察されます。

- 議 長 堀口恵一議員。
- 11 番 堀 口 価格の問題を話しているんじゃないくて、できるかできないかの話なんです
が、要は秦野はできてるんだからこっちでできるんじゃないかという話です
ね。
- 議 長 新東名対策室長。
- 新東名対策室長 技術的にできるかできないかということであれば、向原にも造ることは可
能だとは思いますが。
- 議 長 堀口恵一議員。
- 11 番 堀 口 町長、今言われたとおり、可能だということを言われましたけども、町長、
認識ありますでしょうか。
- 議 長 町長。
- 町 長 私は、スマートインターのほうを優先して、国交省のほう、中日本のほう
にお願いした経過がありますんで、それ以外のものについては、出来上がっ
てからということに考えております。
- 議 長 堀口恵一議員。
- 11 番 堀 口 質問なんですけど、要するに、向原にスマートインターを物理的に造ること
はできるというふうに課長のほうで言われたんで、町長のほうはその認識は
ありますかという質問です。
- 議 長 町長。
- 町 長 できるかできないかという質問ですので、できるんじゃないですかと答え
たんだと思います。どこだって、できるかできないかというって、今のあれ
を見ていただいたら、どこだってできちゃうじゃないですか。私は山の中に
造ってくれと言ったんですよ、トンネルにして。笑ってましたけど。要する
にお金さえかければできちゃうわけですよ。ですから、できるかできないか
と言ったらできるという答えですよ。
- 議 長 堀口恵一議員。
- 11 番 堀 口 じゃあ、2番目の質問ではできるということで御理解いただきました。要
するに、物理的にはできるというお話ですね。
- それから、続けて、じゃあ質問します。3つ目の渋滞助長の懸念、そこに
スマートインターがあった場合に、渋滞がさらにひどくなるんじゃないかと

いう渋滞助長の懸念ということで言われてました。しかし現代スマホとかナビが一般化してまして、普通はみんな混んでは避けるんですね。要は、選択肢があればすいているほうに流れるに決まってるんで、山北に来て混んでたら、じゃあ新東名に乗っていこうというふうに逃げられるんです。選択肢があれば渋滞しないほうに移動するので、渋滞の緩和につながると考えますけれども、どう考えますでしょうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 令和元年9月の際の回答に、渋滞の助長の懸念というふうな回答をした記憶がございません。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 ちょっと手元に議事録がないんで定かじゃないんですが、一応項目として渋滞助長の懸念というような。じゃあ渋滞助長についてはないと考えてよろしいですか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 その際、どのようなやり取りでそのような発言が出たか不明なため、お答えすることができません。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 直感的な感じでもよろしいんで、要はそこにあった場合に川西のインターに抜かれるよとか、または小山町に抜かれるよとなった場合、当然そっちがすいすい流れてれば、そっちに行けば抜かれるに決まってるんで、その分の渋滞が解消するというのが普通に考えれば分かることだと思うんですけども、どうでしょうか。

もう一度、言いますね。渋滞がつながってくると向原にだんだん延びてくるわけですね。延びそうだなというときは、向原のスマートインターに入っちゃえば、そのまま清水のインターにも行けるし、その先の小山にも行けるし、小山に出れば、246に戻ればいいわけで、その一番渋滞するところを回避できますよという話をしているわけですね。そういう渋滞回避ができるんじゃないかということで、渋滞助長の懸念ではなくて、渋滞軽減に役立つという解釈でいるんですけども、違いますでしょうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 長 それは、本線渋滞の助長という意味でございますでしょうか。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 結果的にそういうことになります。例えば、普通の大型トラックが国道 246 でつながって流れてきて、そこに、やっぱり一般の観光の車が来たとして、いわゆる観光の車はそんな待ってられないよといってみんな高速を使っていけば、一般の観光の車がいなくなるわけですから、渋滞は解消されるということですよ。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 長 もう一度、確認させていただきたいんですが、高速道路本線の渋滞の助長、それとも国道 246 の渋滞の助長、どちらでしょうか。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 新東名については高速で走ってますんで、事故でもない限りはスムーズに流れていると思いますから、通常は渋滞しないと。要するに 246 のほうですね。246 の……。

議 長 堀口議員、質問の意図を明確にして、町の答弁をしっかりと引き出せるような質問をお願いします。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 渋滞助長の懸念ですけど、これは、令和元年に、ただ、そちらで渋滞助長の懸念というのが把握されてないという話だったんで。そちら側といいますか、懸念点を上げているほうの意図がこちらとしては十分伝わってなかったかもしれませんが、私のほうとしては、246 及び新東名含めた、要するに、この一帯の渋滞という解釈で、その中に 246 も含まれれば、新東名も含まれるという、そういう解釈ですね。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 長 渋滞の助長につきましては、本線上にパーキングエリア・サービスエリアを設けることによって、減速する車によって渋滞が発生する懸念というのは、現在の東名を見ても分かるとおriあると思うんですが、並行して走る国道 246 の渋滞の助長については、正直想像することができません。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 今現在、246 を通っている一般乗用車がそちらにスマートインター通して、

新東名に入った場合は、その分の交通量は減るといふふうに考えられますけれども、それは渋滞緩和ということじゃないかと思えますけれども。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 ただいまの議員の御質問につきましては、パーキングエリアの質問でしょうか、それともスマートインターチェンジの質問でしょうか。

議 長 堀口議員、質問の意図を明確にお願いします。堀口恵一議員。

11 番 堀 口 どうしてもこういう話というのは結構複雑になるんですけれども、要するに、スマートインターと言ってしまうとパーキングエリアだけのイメージになってしまうんですけれども、そこにスマートインター、要するにゲートをつけただけの出入口をつけるというだけの簡易なもの、そういったもので一体を考えれば、そこはスマートインターという解釈になろうかと思えますので、まとめてしまえばスマートインターなんですけれども、物理的にはパーキングエリアというふうに使っているわけですね。ですから、その辺はちょっといわゆる出入口と考えてもらえばよろしいかと思えます。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 高速道路の出入口は、インターチェンジ及びスマートインターチェンジしかございません。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 そうしましたら、そのスマートインターチェンジということでもよろしいんじゃないかと思えますので。今までの話もそれで通じるんじゃないかと思えますが、違いますでしょうか。

議 長 堀口恵一議員、今の質問はもう一度まとめていただいて質問をお願いします。堀口恵一議員。

11 番 堀 口 スマートインター及びパーキングエリアという言葉を両方使ってますんで、今御質問された形の内容としては、スマートインターで統一すれば、要するに、向原スマートインターと言えば話が分かりやすいかと思えますんで、その理解でいって、今までの話は御理解願えますでしょうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 申し訳ございません。今まで向原パーキングエリアという想定で質問にお答えさせていただいておりました。その向原パーキングエリアを向原スマー

トインターチェンジに読み替えてという形で理解すればよろしいでしょうか。

11 番 堀 口

はい。

新東名対策室長

スマートインターチェンジにつきましては、町長が従来から答弁しているとおり、清水地区に山北スマートインターチェンジを計画しておりますので、向原地区に新たにスマートインターチェンジを設ける考えはございません。

議 長

堀口恵一議員。

11 番 堀 口

今現在、246 が渋滞するという大問題が起こっていて、しかも地元の経済活動にも支障を来す、観光にも支障を来すといろいろな面で懸念されている状況で、解決に向かわないということはどういうことなのでしょうか。

議 長

堀口議員、今の質問はまとめの質問ということでよろしいですか。

11 番 堀 口

いや、まだ時間はある……。

議 長

じゃあ、質問の意図を明確にして再度どちらに問うのか質問をまとめてお願いします。いま一度、堀口恵一議員。

11 番 堀 口

今、課長が答えられたのは政治的判断でできないと言っているのか、NE XCOができないと言っているのかをお聞きします。

議 長

新東名対策室長。

新東名対策室長

従前来、町長が答えているとおり、向原地区にスマートインターチェンジを造る計画はございません。

議 長

堀口恵一議員。

11 番 堀 口

選択肢としまして、これが唯一だった場合、例えば246の4車線化というのはこれは莫大な費用がかかってこれは無理だよと、こちらのスマートインターだったらいくらもかからないのできるよと、そういう状況にあって、それを選択しないというのはあり得ないと思うんですけども。何が聞きたいかといいますと、向原には造らないありきの話で、現状の246の渋滞とかは、何か解決策であっても認めないという解釈でしょうか。

議 長

町長。

町 長

そもそも向原に計画はないわけですから、当然入り口もないわけですよ。そういうようなことについて地元の人たちにも全く話しておりませんし、当然スマートができたときにも清水橋のあそこだけで大変なことになるわけで、当然向原についてはそういったような計画がないわけですから、そもそも論

として、特にインターとかあれを造るということは、私は不可能だというふうに思っております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 　　そもそも、その計画がないからという話でされました。これは物理的にはできるという話も出てきまして、政治的判断がポイントになるわけで、町長の判断ではできないというんじゃないくて、やらないという話だと思うんですが、基本的にパーキングエリアの間隔とかは必然性、必要性というのが一番重要で、そここのところがポイントで見れば、クリアできるんじゃないかというふうに解釈しております。

　　いずれにせよ、時間がなくなってきましたので、私からこうすべきではないかというところで、話をまとめますと、設計条件はクリアできる可能性があるので、改めてここで提案したいと思う。安戸トンネルから清水橋交差点までの国道246号ボトルネック渋滞解決のため、新東名向原展望パーキングエリア（スマートインター付）をNEXCOに要望してはどうかということを最後の質問として、町長の回答を聞いて終わりにいたします。

議 長 町長。

町 長 その考えはありません。

11 番 堀 口 　　終わります。